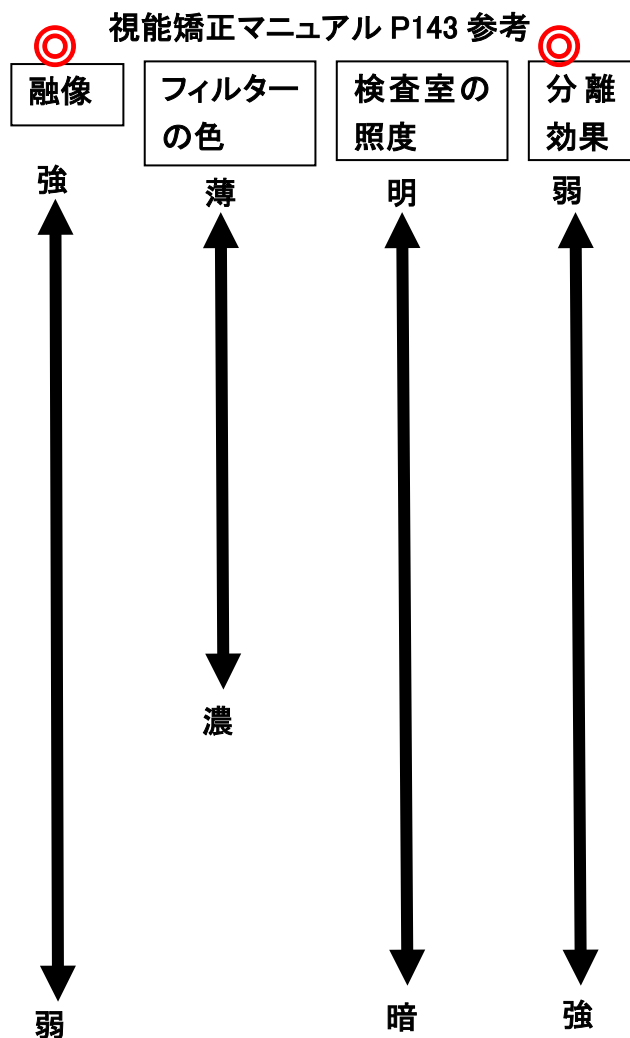


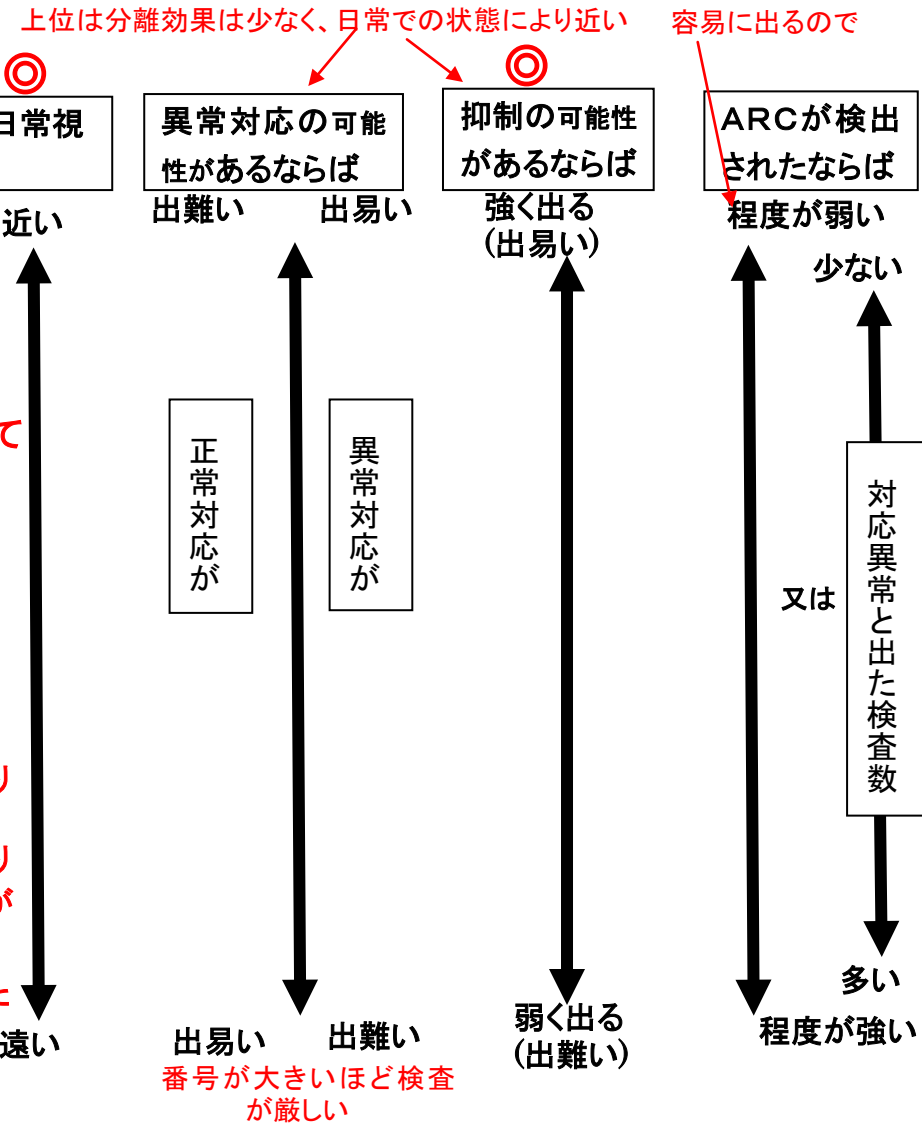
# 網膜対応検査



- 1) Bagolini 線条レンズ試験
  - 1') 位相差ハプロスコープ
  - 2) 偏光版テスト (Pola test)
  - 3) prism adaptation test プリズム順応 テスト
  - 4) 大型弱視鏡による検査
  - 4') fundus haploscope の検査
  - 5) 赤フィルタ検査 (diplopia test)
  - 6) Worth 4 灯検査
  - 7) 陰性残像試験 negative after image test
  - 8) 陽性残像試験 positive after image test
  - 9) 両眼 visuscope 試験 (Cuppers による)
  - 10) 残像引き取り試験 after-image transfer test
- アンダラインは平井淑江氏の追加 視能学 P305 より

## 卒業生の覚え方

バゴリニ警部が  
捜査が  
変更になって  
大  
ファンの  
赤  
ワインを飲んで  
陰気に暗くなったり  
陽気に明るくなったり  
ピ(ズ)ックリした上司が  
家族に連絡して  
引き取ってもらった

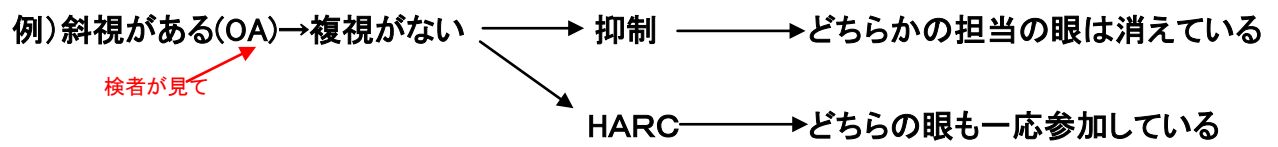


## 検査における注意点

- (検査前)
- ・ 単眼の固視状態をあらかじめチェックしておくこと。…顕性偏位を見る場合カバーにての動きの量を見て判断する為。中心固視か偏心固視か？
  - ・ 日常眼位(顕性偏位の有無)を検査し、斜視眼を知っておくこと。…健眼をカバーして斜視眼の動きが見たい為
  - ・ 通常、屈折矯正はしておくこと。…固視できる十分な視力が必要な為
- (検査中)
- ・ 検査手順はできるだけ分離効果の弱い検査法から行うこと。
  - ・ 検査直前及び検査中の長時間の遮閉は避ける→なるべく日常に近い眼位で検査したい為。

## 考え方のチェックポイント

検査は全て 自覚的検査(検査中の見え方)で、これを 他覚的斜視角の検査 との比較により網膜対応を明らかにする。



- ① 検査での見えかたはどうなっているか? SA
- ② 検査中の眼位はどうなっているか? OA
- ③ 各眼の網膜上のどの部位とどの部位との関係を調べているのか? 検査方法
  - Fovea to periphery
  - Fovea to Fovea